



# 俳人 永田耕衣展

生誕百二十年記念

ながた

こうい

少年や六十年後  
の姿の如し



95歳、大阪・寝屋川苑にて

NAGATA Kōi, Haiku poet  
Exhibition of his life and works  
In commemoration of the 120th anniversary of his birth



姫路文学館  
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE

<http://www.himejibungakukan.jp/>



## 2020.1/11(土) → 4/5(日)

会場 / 姫路文学館 北館

開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)  
※休館日:毎週月曜日(ただし1月13日、2月24日は開館)、1月14日(火)、2月12日(水)、2月25日(火)

観覧料 / 一般310円、大学・高校生210円、中学・小学生100円(常設展料金)  
主催 / 姫路文学館 ※20名以上の団体は2割引

# 枯草の大孤独居士



右の辞世を残して九十七歳の大往生を遂げた俳人永田耕衣は、現代俳句において、あらゆる意味で先駆者であったとされ、没後二十年以上を経て、ますますその存在感を強くしています。

禅に影響を受けた強い宗教性、その難解さゆえに、俳壇では時に批判の対象となるなか、耕衣俳句の魅力を真に発見し、「俳句を俳句の外に連れ出した」と評して絶賛したのは、他のジャンルの芸術家たち、特に詩人たちであったといわれています。またその類、まれな書も、書家たちを瞠目させました。

五十五歳の定年後に本格的な活躍をみせ、自らの老いを句作のエネルギーにかえ、九十代に入っても果敢に俳句世界を切り拓きつづけた耕衣。彼をモデルに小説『部長の大晩年』を書いた作家城山三郎は、その生き方を「満開人生」と称えました。

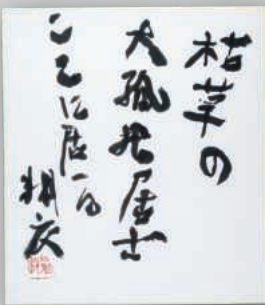
当館では、平成七年の阪神淡路大震災で全壊した神戸市須磨区の自宅から救出された五千点をこえる資料を保存しています。その中から選りすぐりの逸品に加え、新たに遺族や関係者から寄贈いただいた品々、さらに新発見の資料も一堂に公開します。

## 少年や六十年後の春の如し

耕衣誕生から百二十年後の春。あらためて、孤高の「俳哲」との「出会いの絶景」を創出できればと考えています。ご期待ください。



棟方志功との合作句集『猫の足』昭和23年



最後の句となった「枯草の大孤独居士 ことば居る」の色紙



白桃図 俳諧問答 昭和38年作



愛用のビールジョッキ(小倉眞三作)



書(金剛) 昭和38年作

### PROFILE

## 永田 耕衣 ながた こうい

明治33年(1900) - 平成9年(1997)

加古川市尾上町に生まれる。本名・永田軍二。尾上尋常高等小学校を経て、兵庫県立工業学校機械科に入学。在学中に文学に親む。同校卒業後、三菱製紙株式会社高砂工場に入社。工場勤めの一方で、俳句の道をきわめていく。「鹿火屋」「鶏頭陣」「鶴」「天狼」などの俳誌を遍歴し、昭和24年「琴座」を創刊。55歳、定年退職後に須磨に移住し、さらなる旺盛な句作活動を展開。須磨の住居(通称「田荷軒」)には、彼を慕って多くの芸術家が訪れた。平成7年の阪神淡路大震災でその住居が全壊。95歳の被災者として詠んだ「枯草や住居無くんば命熱し」という一句が多くの感動を呼ぶ。平成9年8月25日、97歳で逝去。その人生的、哲学的な俳句理念から、「俳哲」の異名をとった。

# ことばに居る

## 記念イベント

### 記念講演会

講師/高橋睦郎氏(photo by Jorgen Axelvall)

日時/2月22日(土)午後1時30分~3時(午後1時開場)  
定員/150人(当日先着順)  
会場/姫路文学館講堂(北館3階)

講師/高橋睦郎氏(詩人) 演題「出会いの絶景」

### 展示解説会

日時/3月14日(土) 午後1時30分~3時(午後1時開場)  
定員/150人(当日先着順)  
会場/姫路文学館講堂(北館3階)



**姫路文学館**  
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE  
〒670-0021 姫路市山野井町84番地  
TEL.079-293-8228  
http://www.himejibungakukan.jp/

他館イベントのご案内

國富奎三コレクション 受贈25周年記念 **ストラスブール美術館展**  
~印象派からモダンアートへの眺望~ ●2020年1月26日(日)

●姫路市立美術館 ☎079-222-2288

新春特別展示「高砂染展」~播磨の型染、ことばの美~  
●2020年1月7日(火)~3月22日(日)

姫路市立美術館 ☎079-267-0301

アクセス ●JR山陽電鉄姫路駅より神姫バス(9:10-17:18番のりばで乗車6分。「市之橋文学館前」下車、北へ徒歩4分。城周辺観光ループバスで乗車10分。「清水橋(文学館前)」下車、西へ徒歩3分。●山陽自動車道姫路東IC。あるいは姫路西IC。下車約20分。●姫路バス(バス中地ランプ下車約15分。

QRを読み込んで簡単アクセス!! 姫路文学館公式アカウントで情報やつづきを発信中!